

沖縄の有用植物資源 第10回

バンジロウ

フトモモ科

方言名：ベンスルー、バンシルー

学名：*Psidium guajava L.*

『沖縄の有用植物資源』第10回目は、バンジロウを紹介합니다。

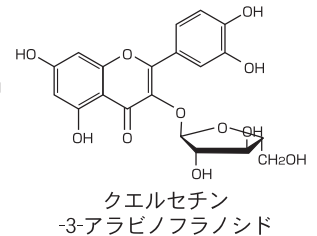
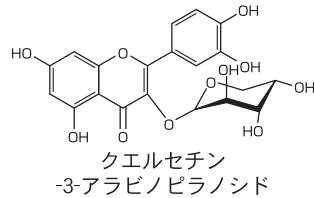
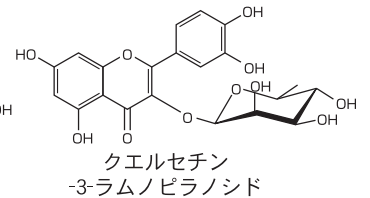
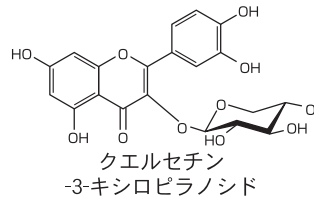
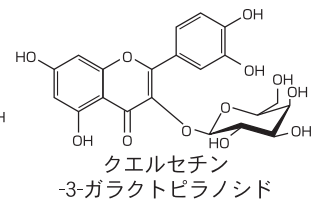
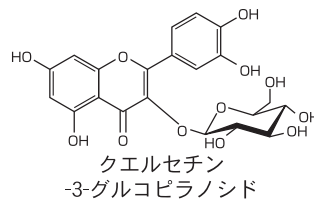
バンジロウは、熱帯アメリカ原産で樹高は3~5m、熱帯、亜熱帯の各地で栽培されています。別名をグアバとも言い、また沖縄ではベンスルー、バンシルーとして親しまれている果物で、グアバジュースはビタミンが豊富なため保健食品として価値が高いものとなっています。

伝統的に、肩の痛みや糖尿病、口腔炎、虫下し、下痢、吐下しなどの症状には、バンジロウの葉を煎じて飲むと効果があるとされています。

また近年は、バンジロウの葉に血糖値上昇抑制作用があることが報告され、茶として製品化され注目を浴びています。

工業技術センターでは、経常研究で糖尿病予防の指標となる糖類分解酵素阻害活性試験や血圧上昇抑制の指標となるアンジオテンシン変換酵素阻害活性試験、高脂血症、ニキビ改善の指標となるリパーゼ阻害活性試験、また抗酸化活性試験を行い、それぞれの試験においてバンジロウの葉や実の50%エタノール抽出エキスに活性があることを確認しました。

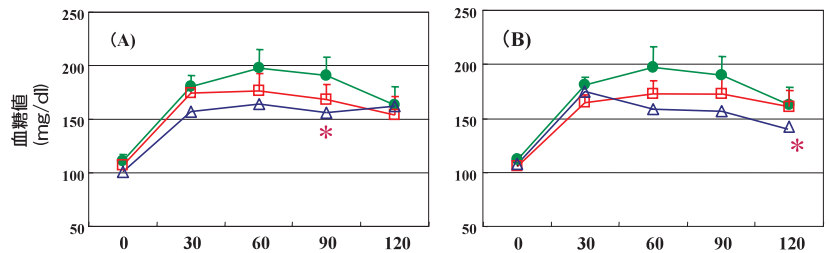
また、琉球大学との共同研究で、バンジロウの葉からフリーラジカル消去効果を示す6種のクエルセチン配糖体を単離、同定しました。



さらに、県内企業、琉球大学、病院との共同研究でバンジロウ葉発酵物の血糖値改善機能及び抗酸化機能について動物試験やヒト試験を行い、その効果を確認しました。

参考文献

- 『原色牧野和漢薬草大圖鑑』三橋博監修 (1998) 北隆館
- 『中薬大辞典』(1998) 小学館
- 『おきなわの薬草百科』大田文子、多和田真純共著 (1985) 新星図書出版
- 『平成10年度沖縄県工業技術センター研究報告』P9-22
- 『平成11年度沖縄県工業技術センター研究報告』P35-57
- 『平成13年度沖縄県工業技術センター研究報告』P111-117
- 『平成14年度沖縄県工業技術センター研究報告』P91-98, P99-102
- 『平成15年度沖縄県工業技術センター研究報告』P65-91



糖(米飯) 負荷後の経過時間 (min)

(A) : 負荷前摂取 (B) : 負荷後摂取
● Control群 □ プラセボ群 ▲ 醗酵グアバ群

図は、境界型被験者9名の平均値±S.D.を表す。
* 測定点でのプラセボ群と醗酵グアバ群との有意差(p<0.05)

糖(米飯) 負荷試験による血糖値変動